

平成 23 年 3 月 23 日

## クルーズサマリー

JAMSTEC 海洋工学センター応用技術部  
探査技術グループ 大美賀 忍  
日本海洋事業（株）深海技術部  
しんかい 6500 運航チーム 櫻井利明

### 1. 航海情報

- (1) 航海番号：YK11-03
- (2) 使用船舶：「よこすか」／「しんかい 6500」
- (3) 航海名称：平成 22 年度「しんかい 6500」試験潜航
- (4) 現場責任者：大美賀 忍（JAMSTEC 応用技術部探査技術 G 技術主任；3/16～3/24）
- (5) 航海期間：平成 23 年 3 月 16 日（水）～平成 23 年 3 月 24 日（木） 9 日間
- (6) 実施海域：伊豆小笠原海溝、駿河湾
- (7) 日程：別表-1 参照

### 2. 実施内容

#### (1) 目的

平成 22 年度「しんかい 6500」中間検査工事完了後のシステム全般の動作確認と各種試験

#### (2) 概要

当初の計画では、試験・訓練潜航として南西諸島海域・駿河湾・相模湾を予定していたが、3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、急遽、試験潜航のみとなり、海域も伊豆小笠原海溝・駿河湾となった。

検査工事終了後は、システム全般の健全性を確認するため、沈降試験（吊索を離さずに潜水船を全没させて行う試験）1 回、深度 1,000m および 3,000m の中層にて水中航走試験各 1 回、最大潜航深度潜水試験 2 回の合計 5 回潜航が計画されていたが、その全てを無事行う事が出来た。途中、深度 1,000m の潜航終了後、船上にて作動確認を実施中に「油圧インバータ故障警報」が発生した。原因探求をしたところ、油漬けケーブルの不良と判明し、予備品と交換した。この作業のため、3 月 18 日は整備日となった。このほか、全ての試験潜航を通して、安全運航に支障を来すような機器の故障やシステムトラブル等は発生せず、検査工事終了後の「しんかい 6500」システムの健全性を確認することができた。

(3) 潜航概略

日時	Dive#	潜航深度	海域	潜航者（船長・補佐・観察者）			備考
3/16	1241	5m	横須賀港	千田	齋藤	※加藤	沈降試験
3/17	1242	1,110m	駿河湾	吉梅	大西	田山	水中航走試験
3/19	1243	3,005m	駿河湾	小倉	齋藤	池田	水中航走試験
3/21	1244	6,462m	伊豆小笠原 海溝	松本	大西	片桐	最大潜航深度 潜水試験
3/22	1245	6,500m	伊豆小笠原 海溝	柳谷	鈴木	田山	最大潜航深度 潜水試験

※三菱重工業（株）社員：最終確認および各種計測のための乗船

(4) 乗船者一覧

氏名	所属	役職	乗船期間
井田 正比古	研究船運航部	運用技術担当役	3/16～3/24
大美賀 忍	応用技術部探査技術グループ	技術主任	3/16～3/24
大森 邦彦	三菱重工業株式会社神戸造船所	主席操船技師	3/16～3/24
下門 文雄	三菱重工業株式会社神戸造船所	主任	3/16～3/24
岩成 進	三菱重工業株式会社神戸造船所		3/16～3/24
加藤 浩之	三菱重工業株式会社神戸造船所		3/16～3/24
砂原 誠一	財団法人日本海事協会横浜支部	船舶検査員	3/16
伊藤 一寿	日本海洋事業株式会社深海技術部	次長	3/16

## YK11-03 試験・訓練実施日程表

期 日	「よこすか」	水域	実 施 内 容
平成 23 年			
3 月 16 日 (水)	機構出港 潜航①・回航	横須賀港第 4 区	関係者乗下船/沈降試験
17 日 (木)	事前調査・潜航②	駿河湾 B 海域	試験潜航
18 日 (金)	事前調査・整備日	—	
19 日 (土)	潜航③	駿河湾 B 海域	試験潜航
20 日 (日)	回航・事前調査	—	
21 日 (月)	潜航④	伊豆小笠原海溝 C 海域	試験潜航
22 日 (火)	潜航⑤	伊豆小笠原海溝 C 海域	試験潜航
23 日 (水)	回航	—	
24 日 (木)	久里浜港入港		